

ツカサ電工株式会社 都城事業所 【会社概要】DCギヤドモーター・チューブポンプ・スポーツタイマー開発・製造

訓練受講のきっかけ（経緯）

令和6年度の新卒が7名入社。今後は毎年計画的に研修を実施していき「研修を受けた者が次年度の研修時のリーダーになってもらう」など後輩育的な面も育てたい。ものづくり、5S、改善、ものづくり品質についてそれぞれに特化したセミナーを希望。希望に即した訓練「ものづくりの仕事のしくみと生産性向上」のコースを選択、受講に至りました。

【訓練ニーズ】

- 新入社員であるため新入社員でも理解できる内容での訓練を希望（若年層に向けてできるだけ分かりやすい言葉や事例などを用いた進行）
- ものづくり、5S、改善、ものづくり品質についてそれぞれに特化したセミナー（さまざまな手法も「やらされ」では成果がでない。「やりたい」につながる主体性の向上に重点をおいたセミナー）

訓練の実施状況

訓練の概要

○令和6年8月、9月に6時間×2日（計12時間）コースにて実施。
新入社員で様々な部署を担当する7名が受講。

○主な内容

ものづくりの仕事の流れ

- (1) 製造業を取り巻く環境と生産性
- (2) ものづくりの基礎

ものづくり現場の現状と課題

- (1) 主体性の発揮
- (2) 業務の見える化とその効果

ものづくりに関する業務改善

- (1) 効果的で継続できる改善活動
- (2) 職場の問題解決【演習】
- (3) 効果の高い改善活動のポイント

※議論のルールを基にしたグループワークにより、共有・気づきを得る重要性、聞く・話す・書くことの重要性を体感内容



受講者の皆様

受講した感想

【受講者の声】

- ・課題解決のために必要なスキル（「見える化」「数値化」等）を知り、役立てそうと感じた。
- ・生産性の向上についてわかりやすく教えてくださったので、学んだことを生かしていこうと思った。
- ・仕事の平準化、とても自分にとって大きな学びだと思った。皆が働きやすいよう、工夫します。
- ・しっかりと、自分のやっている作業の目的などが理解できた。
- ・これまで知らなかったことを知ることができた。自分の仕事上での問題の対処の方法が増えた。
- ・これからの仕事で、見える化を取り入れて 生産性の向上、問題点や解決策をさがしていき、効率的に進められるようにしていきます。
- ・「なぜなぜ分析」のような課題解決を探す方法は、実際に会社でも取り入れてほしいと強く思いました。

【事業主の声】

今回生産性向上支援訓練を入社4か月の新入社員7名に受講してもらいました。当社は生産性・品質向上がもの作りの基本と捉え、座学とグループワーク、特にグループワークを多くして意見を出し合う事を中心に講義いただきました。受講者は講義内容を理解し自分の意見を発表することが出来、もの作りの基本を学べるよい機会だったと思います。